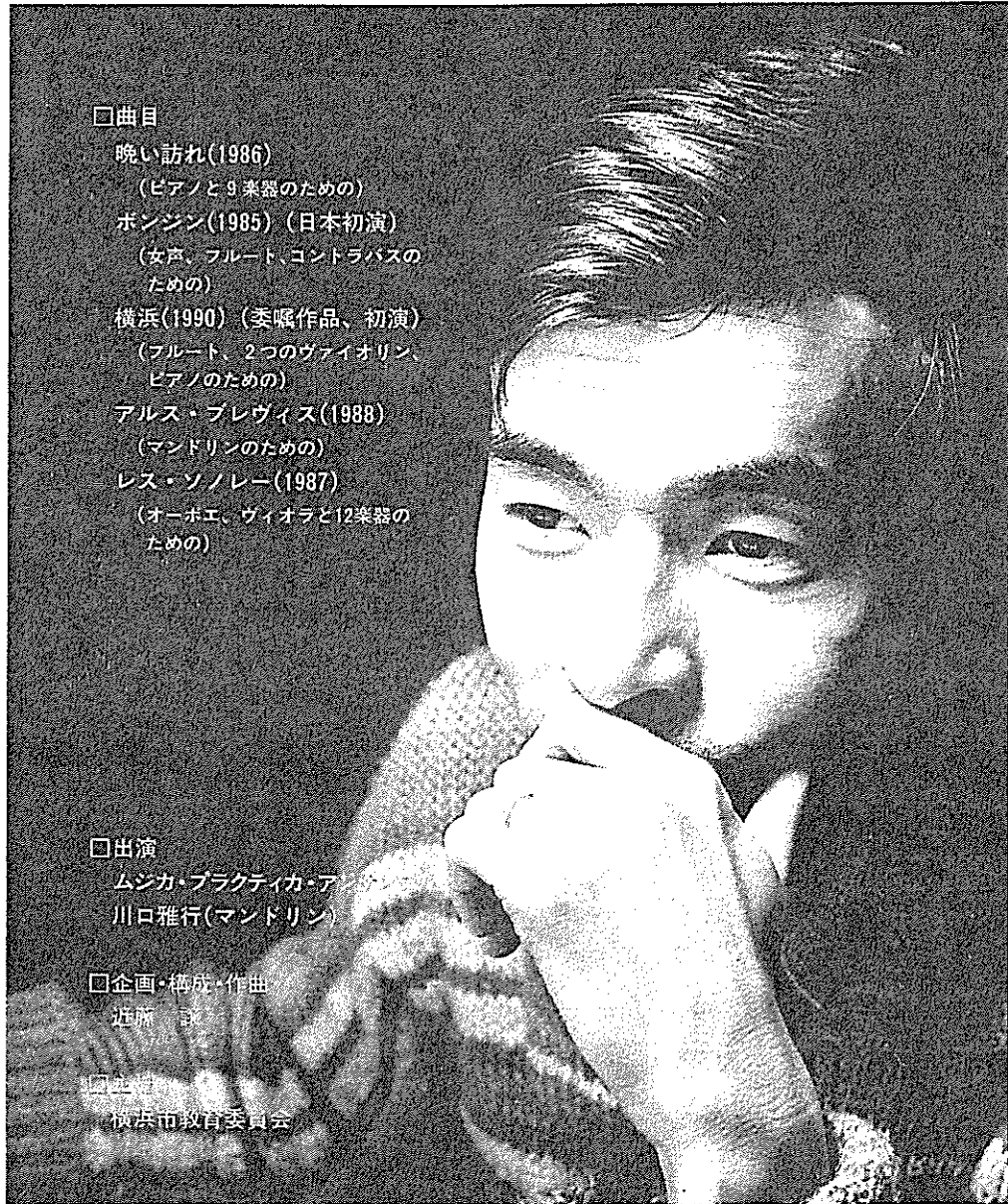


日本の作曲家シリーズ通

近藤 譲 作品集



□曲目

- 晩い訪れ(1986)
(ピアノと9楽器のための)
- ボンジン(1985) (日本初演)
(女声、フルート、コントラバスのための)
- 横浜(1990) (委嘱作品、初演)
(フルート、2つのヴァイオリン、ピアノのための)
- アルス・ブレヴィス(1988)
(マンドリンのための)
- レス・ソノレー(1987)
(オーボエ、ヴィオラと12楽器のための)

□出演

ムジカ・プラクティカ・アカデミー
川口雅行(マンドリン)

□企画・構成・作曲

近藤 譲

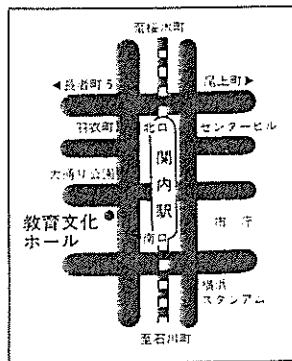
□主催

横浜市教育委員会

'90 **3月30日**(金) 午後7時開演
横浜市教育文化ホール

■申込方法

往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・コンサート名を記入して
〒231 横浜市中区万代町1-1 横浜市教育文化センター文化事業課へ。
応募多数の場合は抽選で500人無料招待。締切'90年3月10日(土)必着。
中学生以上の方に限ります。1枚のはがきで1人ずつ申込んで下さい。
開場は午後6時30分。◎問合せ 文化事業課 ☎045-671-3714~5



日本の作曲家シリーズは現代日本の優れた作曲家とその作品を紹介するため、毎年3月、作曲家に新作とプロデュースを依頼して行っているコンサートです。13回目の今回は、国際的にも高い評価を得ている近藤譲さんです。

音楽とは何か。私は、これまでのほぼ20年間の作曲生活を通じて、常にそれを考え続けてきた。遠い過去から現在に至るまで、あらゆる人々に論じられ続けてきたこの問いには、当然、ひとつの普遍的で決定的な答えなど無い。この問いを前にして、作曲家という立場の人間に為し得るのは、単に、自らが生きる時代・社会に於けるその時その場の答えを求め、それを作品という形で示すことのみである。

この演奏会のプログラムは、この5年ほどの間に書いた作品の中から択んだものである。したがって、ここには、当然、音楽というものに対する最近の私の考え方が顕れている。

近藤譲：1947年、東京生まれ。東京芸術大学卒。1970年の大阪万国博でまだ学生であった彼の作品が演奏され、称賛されて以来、常に、作曲界の第一線で活躍し、国際的な高い評価を得ている作曲家である。アメリカのロックフェラー3世財団、イギリスのブリティッシュ・カウンシル等の招きで、ニューヨーク、ロンドンに滞在するなど、アメリカ、ヨーロッパの各地でも多くの作品が頻繁に演奏されている。多くの作品がレコード化されており、楽譜は、主にニューヨークのピーターズ社等から出版。又、NHKの音楽番組で20世紀音楽の解説者を務め、文筆も多い。エリザベト音楽大学教授。